



未来に残そう 宝の海 大村湾

大村湾 SDGsプロジェクト事業

この事業は、企業版ふるさと納税を活用して実施します。



人工サンゴ

水質浄化セラミック

大村湾SDGsプロジェクト事業内容

● 事業範囲

干潮時の水域境界から沖側に約2m付近から約5m(水深約1.5m範囲まで)の区域
(寄附額10,000千円の場合) 実施面積 約200㎡

● 水質浄化

植物由来のミネラル成分と土壤腐植質、土壤ミネラル成分を原料とする独自の加工技術により作成したカルシウムを主成分とするミネラルセラミックを海中に設置し水質浄化を図ります。

● CO₂ 吸収・固定化

メゾ構造体を応用した人工サンゴ(仮称)を海中に設置し、CO₂を吸収する量及びCO₂を固定化する量等を検証するため実証実験を行います。

● 事業期間

令和4年度～6年度

● 委託先

株式会社Santa Mineral(サンタミネラル・東京都港区)

● 監修協力

長崎大学生命医科学域 教授 西田 教行 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 持続可能な自然再生科学研究寄付講座 特任教授 播谷 亮 氏



水質浄化、CO₂削減を目指して

大村湾は、ナマコなど良質の海産物が取れる宝の海であり、スナメリの生息地としても知られる穏やかな海です。一方全国でも稀な二重閉鎖性海域のため、海水の入れ替わりに時間を要し水質や底質の悪化が問題となっています。この「大村湾」の水質浄化を図り、藻場の再生と生物が生息しやすい環境の回復持続可能な水産業の振興を図ります。また、大気中のCO₂を海中に吸収・固定化する実証実験を実施し、CO₂削減に寄与し、脱炭素社会の現実と気候変動対策に貢献することを目標とします。

